

「こども霞が関見学デー」文化庁プログラム参加のお知らせ  
ーカードゲームを通じて、楽しみながら著作権と海賊版問題を学ぼうー

2026年7月1日

CODAは、2026年7月29日から30日の2日間、霞が関に所在する各府省庁等で開催される「こども霞が関見学デー」において、文化庁が主催するプログラム「カードゲーム“HIT PLAN（ヒットプラン）”で著作権を学ぼう」に協力参加します。

「こども霞が関見学デー」は、夏休み期間中の子どもたちを対象に、文部科学省をはじめとする各府省庁等が連携して実施する取り組みです。各省庁の業務内容の紹介や関連展示、体験型プログラムなどを通じて、子どもたちが社会や政府の施策への理解を深めるとともに、親子で学び、触れ合う機会を提供することを目的としています。

文化庁のプログラム「カードゲーム“HIT PLAN（ヒットプラン）”で著作権を学ぼう」では、小学生高学年・中学生以上とその保護者を対象に、CODAが文化庁の委託事業の一環として企画・開発したカードゲーム「HIT PLAN」を活用し、コンテンツと著作権侵害の問題について、楽しみながら学んでいただきます。

参加対象者であれば事前申込みは不要で、両日とも11時30分からと14時から、当日エントリー制（先着順）のカードゲーム大会を開催予定です。大会では、ゲームの解説や試遊に加え、本格的な対戦形式の大会および表彰を実施します。詳細は以下をご参照ください。

■ 令和8年度文部科学省こども霞が関見学デー（文部科学省ホームページより）

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/ikusei/kengaku/index\\_00024.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kengaku/index_00024.htm)

「HIT PLAN」は、著作権侵害（海賊版）問題への理解を深めることを目的に開発された啓発用カードゲームです。ゲームデザインは、国内外で活躍するアナログゲームデザイナーのカナイセイジ氏、イラストは人気漫画家・イラストレーターのあらみけいいち氏が担当。さらに、日本のアナログゲーム制作の第一線で活躍するクリエイターが集結し、開発に携わりました。

また、会場では粘土アーティストのさとうマツギョ氏による計10点の造形作品の展示を行います。ゲーム内カードに登場するあらみけいいち氏のイラストを造形化したオリジナル作品で、グッズ展開における「ホンモノ」と「ニセモノ」の違いを、来場された子どもたちに視覚的に分かりやすくお届けします。この作品展示を通じてコンテンツが持つ価値について感じていただけたらと思います。



さとうマッギョ氏による展示作品①



さとうマッギョ氏による展示作品②

本プログラムを通じて、子どもたちがコンテンツの広がりとその侵害の問題を身近なものとして捉え、著作権保護の意識を広く社会に浸透させていく機会となることを期待します。ぜひ多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

- 参考リリース：コンテンツの企画と侵害をテーマにしたカードゲーム「HIT PLAN」を開発！

<https://coda-cj.jp/news/2704/>

---

#### CODA について

CODA（一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構）は、2002年に日本コンテンツの海外展開の促進と海賊版対策を目的として、経済産業省と文化庁の呼びかけで設立されました。音楽、映画、アニメ、放送番組、ゲーム、出版などの日本が誇るコンテンツは、日本の国際プレゼンス向上や経済成長の一翼を担っています。デジタル技術の普及が進む今日、巧妙化する著作権侵害から日本のコンテンツ産業を守り、その発展を図ることが一層重要になっています。その中でCODAは、国内外の関係政府機関、団体、企業と叡知を結集し、権利侵害への直接的、間接的な対策や広報啓発活動などに取り組むことで、オンラインを含めた海賊版の抑止や摘発に貢献しています。具体的な事業内容は <https://coda-cj.jp/activity/> から。